

論文執筆時の自己チェックに、是非ご活用ください！ 一剽窃・盗作検知ツール「iThenticate（アイセンティケイト）」

今年4月より、剽窃・盗作検知ツール「iThenticate」が本学でも利用可能となったことをご存知でしょうか。「iThenticate」は論文や著作物の内容を、世界最大級の学術フルテキストデータベースと照合し、その独自性を検証するオンラインツールです。論文のボリュームや利用環境により異なりますが、数頁の論文で数分、数百頁の論文だと数十分でチェックが完了します。例えば、①学術論文や記事等を投稿する際の事前確認 ②論文の作成指導 ③自己防衛（共著者の作業確認）④自己重複の確認（自己の過去の論文との比較）など、論文執筆時の様々な場面で役立つツールです。



平成25年4月1日以降、学位論文（博士）は岩手医科大学リポジトリでの公開が義務付けられています。今後はこの学位論文申請時にも「iThenticate」の利用を義務付ける方向で各学部での調整が行われています。利用時に必要なアカウント登録は図書館で受け付けておりますので、一度ご利用ください。

ご希望の方は tosho2@j.iwate-med.ac.jp まで、■お名前（漢字・アルファベット表記）■所属 ■メールアドレスを明記の上、件名を「【iThenticate】アカウント登録希望」としてメールをお送りください。ご利用までの詳しい手順とマニュアルはホームページ（岩手医科大学ホームページ>学内限定情報>【剽窃・盗作検知ツール】iThenticate）でご覧いただけます。



第8回記念品 フックカバー

2016年3月～2016年6月の4ヶ月間のMVP発表！

【閲覧数】

寺山靖夫先生他（内科学講座神経内科・老年科分野），周術期の抗凝固療法を考える アピキサバンへの期待；Pharma Medica, 2015

【ダウンロード数】

内田達郎先生他（当時歯科補綴学第一講座），摂取可能食品の調査による咀嚼能力の評価；岩手医大歯誌, 2007



愛読書にかければ
読書が進む・・・かも？

《IRコラム》



JAIRO Cloud(Ver.2)

JAIRO Cloud (Mei通信 No.7 参照) について、追加情報をお知らせします。

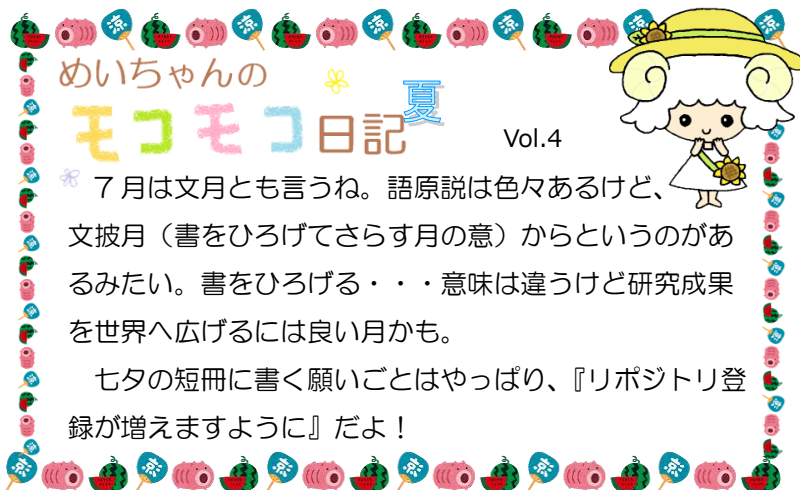
この共用リポジトリサービスは当初、国立情報学研究所(NII)による無料提供でしたが、平成26年度より推進協会の設立と有料化の検討が重ねられてきました。平成29年度より、リポジトリ推進協会とNIIが共同で運営することになり、有料化が実施される運びとなりました。その主な理由は、利用機関（387機関 2016.5.31現在）が増え続ける中で現状のシステム開発、運用・保守、講習会や研修会の開催等、運営に係る負担の無料提供が困難になったことが挙げられます。将来に渡り共有財産としてのJAIRO Cloudを安定的に維持・発展させるため、利用機関による人的資源・財源の提供と共同運営が求められています。

今後、JAIRO Cloudを継続利用するには協会への参加が必須です。会費は基本会費と機関構成員数で算出される利用料金で構成されます。

機関リポジトリ導入機関数の増加は、無料で閲覧可能な論文が増加している表れでもあります。本学も登録件数増加の試みとして、講座単位での登録依頼を開始します。事前に図書館で公開の許諾条件を確認していますので、同意書と登録データをご提出ください。皆さまからの登録申請を心よりお待ちしております。

参考：第11回「大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議」※「配布資料」4-1~4-8

<http://www.nii.ac.jp/content/cpc/documents/index.html#11>



めいちゃんの もっもっ日記 Vol.4



7月は文月とも言うね。語原説は色々あるけど、文按月（書をひろげてさらす月の意）からというのがあるといいたい。書をひろげる・・・意味は違うけど研究成果を世界へ広げるには良い月かも。

七夕の短冊に書く願いごとはやっぱり、『リポジトリ登録が増えますように』だよ！

発行：岩手医科大学附属図書館

E-mail：repo@j.iwate-med.ac.jp

TEL：019-651-5110(ダイヤルイン) (内線)内丸本館 2303, 矢巾分館 5360